

「債券サステナブル投資に関する調査研究報告書」公表

公益財団法人 年金シニアプラン総合研究機構
(<http://www.nensoken.or.jp/>)

年金に関する専門研究機関である公益財団法人 年金シニアプラン総合研究機構（東京都港区、理事長 高山憲之）は、「債券サステナブル投資に関する調査研究報告書」を公表しました。

<要旨>

サステナブル投資の拡大はグローバルな潮流となっており、日本も例外ではなく大きな拡大が見られている。サステナブル投資は株式投資を中心に発展してきたが、すべての資産クラスにおいて ESG 要因を考慮しサステナブル投資を実施していくことが必要という考え方が強まっており、債券投資はもとよりオルタナティブ投資の分野にもサステナブル投資を導入する動きが広がっている。

債券サステナブル・ファンドへの資金流入額は大きく拡大し、グリーンボンド等 ESG 関連債券の発行額も大きく増加しているが、債券サステナブル投資には、上場株式を投資対象資産とするサステナブル投資とは異なる部分も多く、どのように取り組んでいくべきかを多くの投資家や運用機関は模索しているようにも見受けられている。

本報告書は具体的な債券サステナブル投資の手法を解説するものではないが、信用格付における格付機関の ESG 要因の取り込み方や、各種の債券 ESG インデックス、グリーンボンド等 ESG 関連債券や証券化商品における ESG 関連証券の概要等を紹介することで、債券サステナブル投資の実施や高度化を考える年金資金を始めとした各種投資家等に、検討材料を提供し債券サステナブル投資への理解を深めていただくことを目的として作成したものである。

※報告書は当機構 HP(<http://www.nensoken.or.jp/publication/research/>)より無料で閲覧頂けます。

【お問い合わせ】 〒108-0074 東京都港区高輪1丁目3番13号 NBF 高輪ビル4階
公益財団法人 年金シニアプラン総合研究機構
(担当) 研究部 主任研究員 樺山和也
(電話) 03-5793-9412 (E-Mail) k-kabayama@nensoken.or.jp

《ご参考》

[図表 1-15] 上場株式投資と債券投資との主な差異

	上場株式	債券
投資対象発行体	上場企業	上場企業 非上場企業 ソブリン 国際機関 政府関係機関 特定目的会社（証券化商品） 他
パフォーマンス	株価 配当 （アップ&ダウン両サイド）	金利 償還期限（プリペイメント、期限前償還含む） イールドカーブ スプレッド （償還は額面：主としてダウンサイド）
投資分析	ファンダメンタルズ （マクロ・業界・個別企業）	ファンダメンタルズ （マクロ・業界・個別企業） イールドカーブ 信用力 償還年限、コールの蓋然性 優先劣後構造 裏付資産（証券化商品）
エンゲージメントにおける ステータス	株主（議決権保有者）	債権者

出所：各種資料から年金シニアプラン総合研究機構作成

【目次】

- 第1章 サステナブル投資
- 第2章 信用格付と ESG 評価
- 第3章 ESG 債券インデックスと ETF
- 第4章 ESG 関連債券
- 第5章 証券化商品と ESG

以 上